



## シリーズ 感染症や疾病の予防

公立学校共済組合近畿中央病院  
皮膚科医長

たかせ まゆ  
高瀬 真由

### 带状疱疹

#### ■带状疱疹とは

初めて水痘・带状疱疹ウイルスに感染したときは、水痘（水ぼうそう）として発症します。この時に主に皮膚にでた発疹から神経を伝わって体内の神経節にウイルスが潜伏するといわれています。神経節内に潜伏感染していたウイルスが何らかの誘因で、再活性化して発症するのが带状疱疹です。

#### ■原因

加齢やストレス、過労などが引き金となってウイルスに対する免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活動を始め、神経を伝わって皮膚に到達し、带状疱疹として発症します。



#### ■発症年齢

加齢に伴い増加する傾向があり、50歳以上で発症率が急増し、70歳以上では1000人あたり10人以上となります。高齢化が進行しているわが国においては、今後ますます患者さんの増加が予想されます。

#### ■带状疱疹の特徴

身体の左右どちらか一方に、ピリピリと刺すような痛みと、これに続いて赤い斑点と小さな水ぶくれが带状にあらわれます。

胸から背中にかけて最も多くみられ、全体の半数以上が上半身に発症します。また、顔面、特に眼の周囲も発症しやすい部位です。

#### ■合併症

顔面の带状疱疹では、顔面神経麻痺、味覚障害、耳鳴りや難聴などが生じることがあります。腹部の带状疱疹では、便秘になることがあります。また、臀部や陰部の带状疱疹では、尿が出なくなることもあります。

## ■後遺症

通常、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、その後もピリピリするような痛みが続くことがあります。これを帯状疱疹後神経痛といいます。これは急性期の炎症によって神経に強い損傷が生じたことによって起こります。

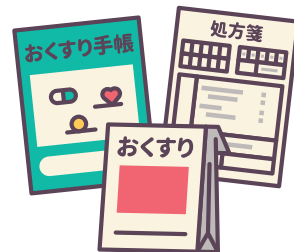
皮膚症状が重症な人、夜も眠れないほど強い痛みがある人、60歳以上の高齢者では帯状疱疹後神経痛が残る可能性が高いため、注意が必要です。

## ■治療

治療は、抗ヘルペスウイルス薬の飲み薬で行います。抗ヘルペスウイルス薬の飲み薬は、効果があらわれるまでに2日程度かかります。服用してすぐに効果があらわれないからといって、服用量を増やしたり、途中でやめたりしないで、指示通りに服用してください。

抗ヘルペスウイルス薬は、発病早期に服用を開

始するほど、治療効果が期待できます。帯状疱疹の特徴的な症状を自覚したら、できる限り早く皮膚科にご相談ください。



## ■予防

水ぼうそうにかかったことがある人は、すでに水痘・帯状疱疹ウイルスに対する免疫を獲得していますが、年齢とともに弱まってしまうため、改めてワクチン接種を行い、免疫を強化することで帯状疱疹を予防します。

現在、生ワクチン「ビケン」と不活化ワクチン「シングリックス」の2種類があります。保険適用はなく、任意接種のため、接種料金は全額自己負担となります。効果や副反応等を確認の上、かかりつけ医にご相談ください。

種類名称	生ワクチン ビケン	不活化ワクチン シングリックス
対象	50歳以上	50歳以上 または 帯状疱疹に罹患するリスクが高いと 考えられる18歳以上の者
接種回数	1回	2回
費用	1万円程度	4万円程度（2回で）
接種方法	皮下注射	筋肉注射
発症予防効果	69.8%	96.6%
持続性	5年程度	9年以上